

2006年 1月 12日

エネルギーはエンドユーザーが選べる時代へ
キッチン熱源を自由に選択できるマンションが増加
～「東京ユニオンガーデン」で電気とガスの違いを分かりやすく実演～

株式会社長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：岩尾崇）がこれまで手がけた分譲マンションのうち、オール電化マンションの割合は年々増加傾向にあり、2005年度末（06年3月末）には採用累計が10,000戸を超える予定です。

最近のマンション購入希望者の声を聞くと、「先進的なIHクッキングヒーターを使いたい」「お料理するならガスコンロがいい」と、電気支持派とガス支持派にそれぞれ分かれます。そこで各住戸の電気容量を充分確保した上で、キッチンに電気とガスの2系統の熱源を配したマンションが登場し始めました。IHクッキングヒーターとガスコンロのいずれかを、特別な工事をすることなく無償で選ぶことが可能で、しかも従来は難しかった、リフォーム時のガス→IH、IH→ガスへの調理器変更も容易に行えます。

当社が2004年度上期（04年4月～9月）と2005年度上期（05年4月～9月）に首都圏で設計した物件を比較すると、熱源が2系統配された物件は約11%→17%に増加（4棟／全体36棟→8棟／45棟）、戸数をみると約11%→約28%（834戸／7,476戸→2,770戸／9,850戸）と大きく伸びています。

このようなマンションのうちの1つ『東京ユニオンガーデン』では、次世代型のIHクッキングヒーターと最新型のガスコンロの比較を直接ご覧頂くことができます。

「Kitchen Stadium（キッチンスタジアム）」と名付けられた特設会場でそれぞれがお客様の前で調理を行い、具体的に両者の性能や使い勝手の違いを見て頂くことができます。

これまでユーザーが熱源を選択することは基本的にはできませんでしたが、これからはユーザーの立場にたって、実際にお住まいになる方のライフスタイルや好みで熱源を自由に選択することができる分譲マンションが増えることが予想されます。

【『東京ユニオンガーデン』物件概要】

所在地：東京都東大和市桜ヶ丘1-1429-3（地番）

交通：西武拝島線「東大和市」駅から徒歩3分

敷地面積：45,260.63㎡（都市計画道路予定地面積611.75㎡含む）

構造・規模：鉄筋コンクリート造地上14階（2棟）、鉄筋コンクリート造地上11階（1棟）

総戸数：791戸

販売日程：第1期モデルルーム公開中

1月下旬分譲開始

専有面積：71.40㎡～102.62㎡

完成予定日：第一工区：平成18年8月末日／第二工区：平成19年2月末日

売主：東レ建設（株）、ニチモ（株）、セントラル総合開発（株）、（株）アゼル、
近藤産業（株）、日鉱不動産（株）、（株）長谷工コーポレーション

設計：（株）長谷工コーポレーション

施工：（株）長谷工コーポレーション

販売提携（代理）：みずほ信託銀行（株）、東レハウジング販売（株）

販売提携（媒介）：（株）長谷工アーベスト



【「Kitchen Stadium」 実演風景～電気による調理～】



【「Kitchen Stadium」 実演風景～ガスによる調理～】